

2 地元への説明状況

○西口周辺の自治会等を対象に、都市基盤の整備方針（素案）の説明会等を実施

[地元説明会等の実施状況]

| 年 月 日 | 対象自治会 | 出席者数 | 備考 |
|-------------------------|---------------|------|-----|
| 平成 25 年 11 月 18 日（月） | 上田辺町第 2 | 12 名 | 説明会 |
| 11 月 25 日（月） | 西紺屋町 | 4 名 | 説明会 |
| 12 月 10 日（火） | 桃園連合 | 7 名 | 説明会 |
| 12 月 11 日（水） | 桃園連合 | 5 名 | 説明会 |
| 平成 26 年 1 月 27 日（月） | 芥川連合，ローレルスクエア | 2 名 | 説明会 |
| 2 月 1 日（土） | 芥川連合，ローレルスクエア | 9 名 | 説明会 |
| 2 月 3 日（月）～ | 高槻地区連合 | — | 回覧 |

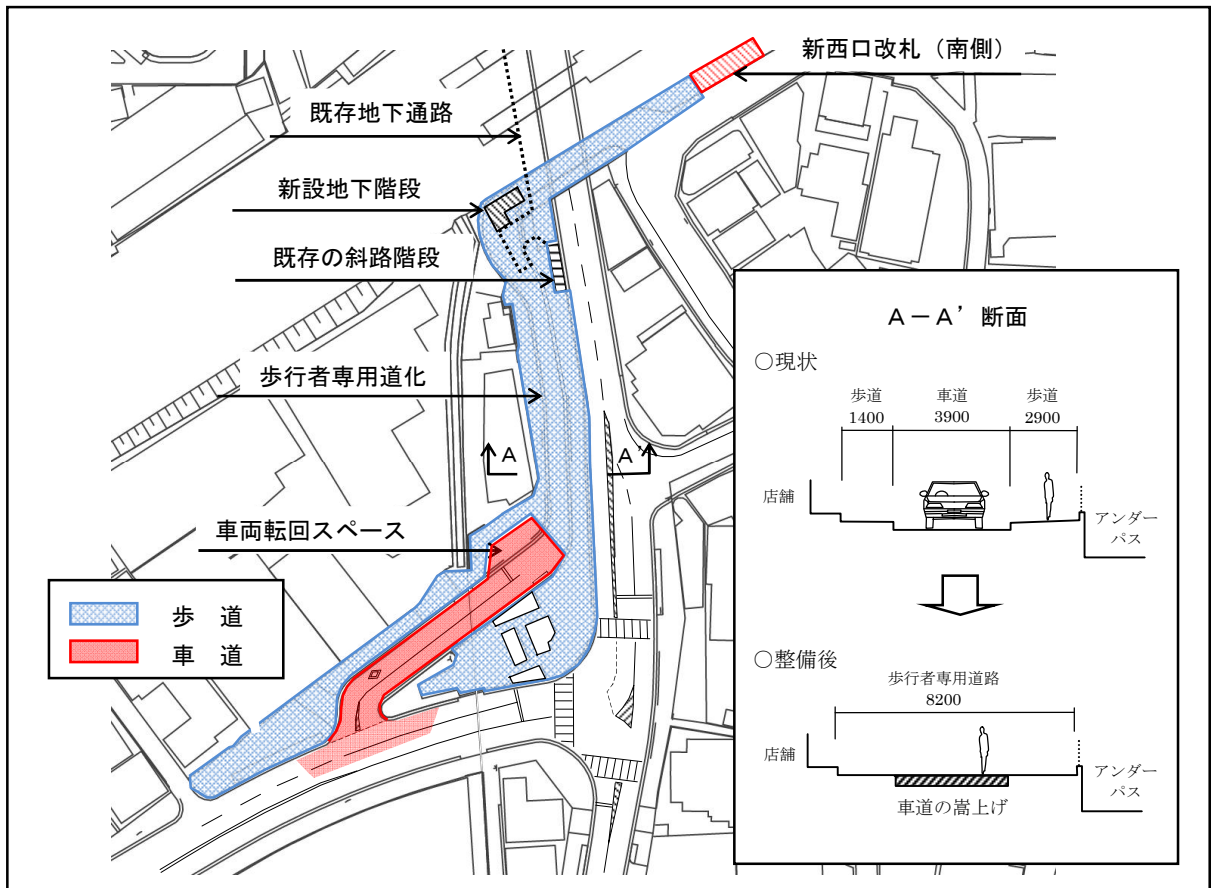
[主な質疑]

| No. | 質 問 | 回答要旨 |
|-----|--|--|
| 1 | 新しい西口改札には、どの様にアクセスできるのか。 | 地上の道路から直接改札口を利用でき、さらに階段を設置する他、改札からホームまでスロープで接続するバリアフリー構造となる。 |
| 2 | 新しいホームにアクセスするには地下通路を利用する必要があり、これまでより遠回りになるのではないかと。 | 例えば、行きは遠回りになるが、帰りは従来より近くなるので、トータルとしてはほぼ従前並と考えている。しかし、よりアクセス性を向上させる方策を検討する。 |
| 3 | 上田辺町 3 号線を歩行者専用道路とすると、迂回する車両により周辺道路の交通渋滞が発生するのではないかと。また、事前に影響を確認する方法はないかと。 | 上田辺町 3 号線の交通量は約 770 台/日であり、現状の周辺交差点の状況を踏まえると、これが原因で大きく混雑するとは考えていない。しかし、想定外の事態に備えて、事前にこの影響を把握しておく方策を検討している。 |
| 4 | 新改札付近への不必要な車両の進入を抑制するため、上田辺町 1 号線の西行き一方通行化などは可能かと。 | 上田辺町 1 号線の交通量の東行き車両は約 140 台/日であり、迂回による周辺交差点への影響は軽微と考えている。そのため、沿道アクセスへの影響や歩行者中心のまちづくりの必要性も踏まえながら、検討していく必要があると考えている。 |

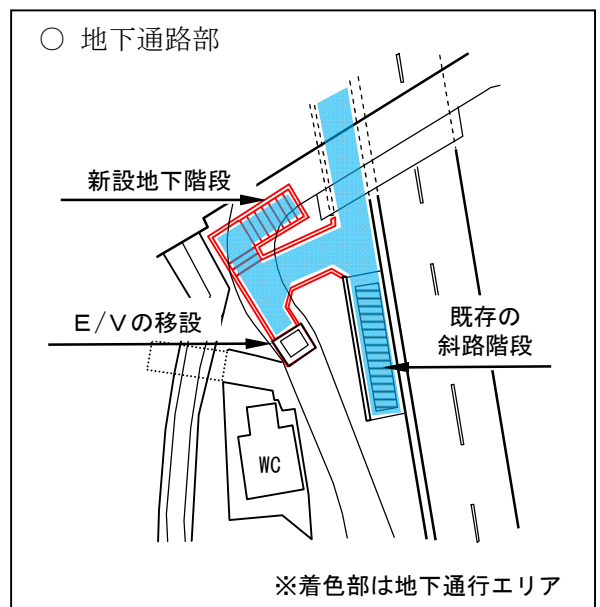
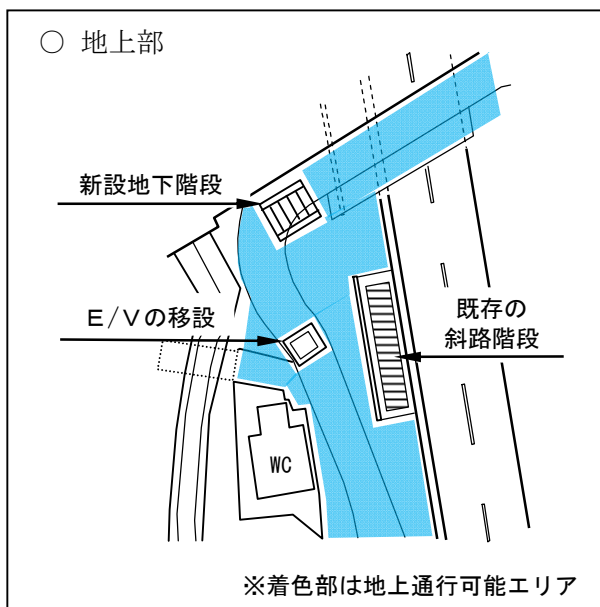
3 整備案

(1) 西口（南側）歩道整備案

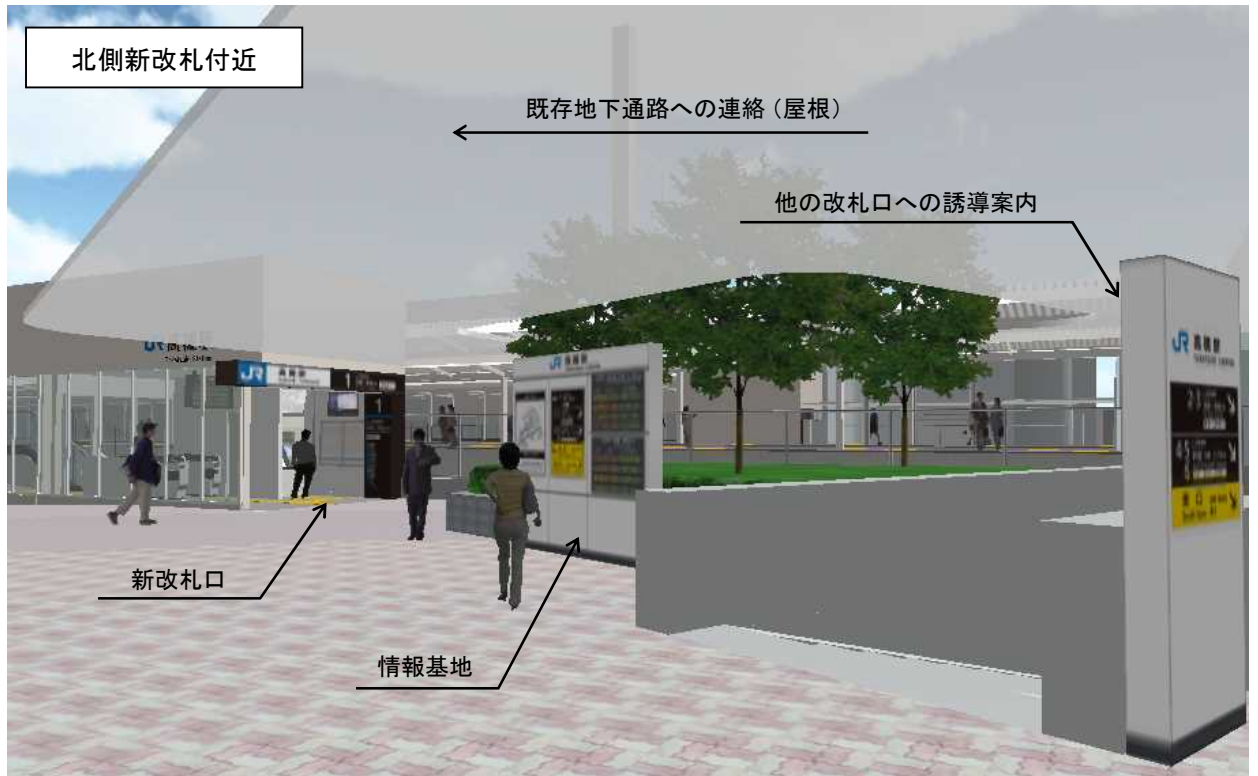
- 上田辺町3号線の一部を歩行者専用道路として再整備
- 既存地下通路と新西口改札との連絡性を高めるため、屋根の設置や動線短縮化のための階段設置を検討中
- 既存地下通路については、安全性向上のための改良を検討



[階段設置イメージ]



(2) 整備後のイメージ



(JR西日本より提供)



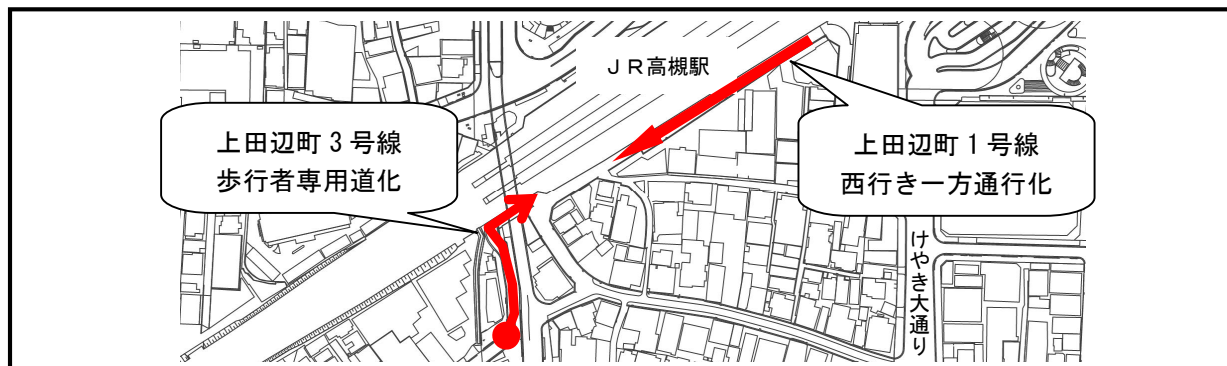
(JR西日本より提供)

4 交通社会実験

○交通社会実験の内容（案）

| 項目 | 概要 |
|--------------|--|
| 目的 | ○新西口改札の設置とそれに伴う交通体系の見直しに先立ち、周辺交通体系への影響を確認すると共に、必要な追加対応の検討を行う。 |
| 実施計画 | ○実施内容：上田辺町3号線の歩行者専用道化 上田辺町1号線の西行き一方通行化 ○時期：平成26年6月頃 ○期間：土日を含む連続7日間 |
| 広報活動 | ○対象地域周辺での広報 ・周辺自治会での説明会 ・周辺道路における予告看板 ・広報用ポスターの掲出、広報チラシの配布 ○市全域での広報 ・高槻市ホームページ・広報たかつきへの掲載 ・CATVによる情報提供 |
| 周辺交通への影響把握方法 | ○交通量調査 ○住民・事業所アンケート調査、歩行者へのヒアリング調査 |

○実施箇所



5 今後の予定

平成26年6月

交通社会実験

平成26年7月～

実施設計

平成27年度

整備工事

平成28年春

新ホーム供用開始
上田辺町3号線の歩行者専用道化